

第1学年 保健体育科学習指導案

学級 1年A組(男子11名、女子14名、計25名)
指導者 菊池 一美

1 単元名 武道「柔道」

2 単元の目標

- (1) 技ができる楽しさや喜びを味わい、基本動作や基本となる技ができるようにする。
ア 相手の動きに応じた基本動作から、基本となる技を用いて、投げたり抑えたりするなどの攻防を展開する。[技能]
- (2) 柔道に積極的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、禁じ技を用いないなど健康・安全に気を配ることができるようにする。[態度]
- (3) 柔道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。[知識、思考・判断]

3 単元の指導計画と評価

(1) 単元の指導計画と評価(全9時間)

	主な学習内容	態度	思考・判断	技能	知識・理解	評価の方法
1	オリエンテーション・礼法・	②	①		①	観察 学習カード
2	基本動作・受け身	①				
3	固め技への挑戦	①④	①			観察 学習カード
4	・本けさ固め・横四方固め	③				
5	・上四方固め		②			
6	固め技の自由練習・審判の仕	①④		①		観察・学習カ ード・ビデオ
7	方		②			
8	膝車・釣り込み足・小内刈 り	①②				観察 学習カード
9	大腰・学習の振り返り	①	①			

(2) 評価規準

運動への関心・意欲 ・態度	運動に対する思考・判断	運動の技能	運動に関する知識・理解
①柔道の学習に積極的に取り組もうとしている。	①基本動作と対人的な技能の関連を図っている。	①基本動作と自分の能力に適した対人的技能で練習することができる。	①柔道の特性や学習の進め方、基本動作、伝統的な考え方について、学習した具体例を挙げている。
②柔道の特性に関心をもち、礼儀作法を意識して行っている。	②練習や試合の中で、すきやくずす方法をみつけ、仲間と学習する場面で、仲間のよい動きなどを挙げている。		
③仲間の学習を援助し練習しようとしている。			
④禁じ技を用いない等健康・安全に留意している。			

4 本時について (7/9時間)

(1) 指導目標

- ・練習や試合の中で、すきやくずす方法をみつけ、仲間と学習する場面で仲間のよい動きなどを挙げることができる。[思考・判断]

(2) 評価基準と個に応じた支援

	A 十分満足	B 概ね満足	B 生徒への支援	C 生徒への支援
思考 ・ 判断	・仲間と学習する場面で、仲間のよい動きなどを挙げている。	・よい動きなどがわかる。	・ポイントの確認をし、どう声をかければ、いいかを教える。	・単語でもよいことを教える。

(3) 授業づくりのポイント(授業参観の視点)

- ①生徒の思考を深めさせる発問や場面について
 - ・自由練習の場面で割り箸ジャッジで点数をつけることにより、視点をもたせる。
 - ・学習形態の工夫(少人数グループ)により、より明確に思考が深まるようにする。
- ②既習の知識を踏まえ、自分の体で表現したり、根拠を明確にして言葉で説明したり、活用したりする場面の個に応じた設定について
 - ・技のポイントを明確にし、根拠を明らかにして説明させる。
 - ・既習の固め技のポイントを掲示することによって、説明しやすくする。

③「いわて授業作りの3つの視点」

ア 学習の見直し

ホワイトボードを使って授業の流れを掲示し、特別な支援を要する生徒も不安感なく授業に入れるよう配慮する。

イ 授業における学習課題を解決するための学習活動

グループ活動によるアドバイスを設定することで、技能の共有化を意図的に組む。

ウ 学習の振り返り

本時のうまくいった部分、改善点、次の時間の目標について記入させることで、本時の活動をふり返って考えさせる。

(4) 本時の展開

段階	学習内容	教師の支援（・）と評価（◎）
導入 (10分)	1 整列・挨拶 2 ウォーミングアップ 3 前時の振り返り ・相手の攻防に合わせての動きとなっていたか確かめる。 4 学習課題の設定	・曲に合わせて、気をつけるところを意識しながら行わせる。 ・技のポイントの確認をし、どのようにすればくずされないのか、またくずすことができるかを発表させる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 仲間の攻防の仕方の工夫で、よかった点などを発表し合おう </div>		
展開 (32分)	5 課題の解決に向けての確認 6 基本練習（固め技）の確認 (1) 抑え方、逃げ方の確認 ① 本けさ固め ② 横四方固め ③ 上四方固め 7 課題に迫るためのグループ練習（約束練習） 8 団体戦 ・グループで自由練習を行った生徒の出来映えについての改善点をアドバイスし合い、交代で自由練習を重ねる。	・これまでの学習から、どのようにすれば相手の攻防に合わせて行うことができるか考え、特に意識するポイントをグループ内で発表し合えるよう、支援する。 ・基礎の技を確実にできるよう、指導・支援を行う。 ・相互に見取りながら試合を行う。 ・個人の学習カードに様子を記入させるなど、個人ごとの課題を意識させる。 ・割り箸ジャッジやグループ内の他の自由練習を見ることで、自分の出来映えや改善点を考えさせる。
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>< B生徒への支援 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・技のポイントをほめていたら、言い方をほめる。 ・どう声をかければいいかを教える。 ・周りの子供達にポイントについて声をかけさせる。 </div>
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>< C生徒への支援 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前と比較して良くなった所をほめつつ、気がついたか確認する。 ・単語でもよいことを教える。 ・以前と比較しながら声をかけ、促す。 </div>
◎学習カード・観察		
終末 (8分)	9 本時のまとめ ・本時の学習活動を振り返り、学習カードに記入する。 10 挨拶	・活動や試合を行って考えてきた学習課題への改善点などを記入させる。以前と比べて今日一番の生徒を発表させる。(選んだ理由は、グループ内の他の生徒に発表させる) ・何グループかに発表させる。